

指標達成60事業所公表

岡山市は27日までに、在宅介護充実の総合特区事業の一つとして2014年度に始めた「デイサービス改善インセンティブ事業」で、参加した市内の151事業所のうち、サービスの評価指標として定めた5項目の中で3項目以上を達成した60事業所を公表した。15年度は、利用者の日常生活機能の改善で成果を挙げた事業所への奨励金支給を始める。(長田憲司)

インセンティブ事業で、市が市内のデイサービス事業所を評価する事業所を評価する事業所を評価することで市内全体のサービス向上を図る。インセンティブ事業の意見をもとに、利用者の状態が改善するほど事業所の収入が増えるという介護保険制の矛盾解消が狙い。初年度は市内の約290事業所の半数以上が参加した。25日、事業の説明会が岡山ふれあいセンター(中区桑野)であった。

評価指標は、職員の研修、市の担当者が「努力」事業所のスタッフらと述べた。基準を達成した2法人によるサービス内容の紹介もあった。

15年度は奨励金支給

修参加状況▽認知症高齢者の受け入れ人数▽介護福祉士の人数ーなど

約180人が出席。市内でリハビリ特化型センターを運営するアール・ケア(玉野市)の小馬誠士取締役は「利用者の状態が良くなれば社会保障費の圧縮にもつながる」と話し、事業を評価していた。

15年度の奨励金支給は、参加事業所の各利用者について、食事や着替えに介助が必要かなど13項目を半年おきに調査し、改善度を見る。



市が開いたデイサービス改善インセンティブ事業の説明会

サービスの質の評価指標

項目	基準
外部研修への参加延べ人数	改善インセンティブ事業の参加事業所の平均以上
市主催の研修会への参加状況	3回の研修に各1人以上参加
認知症高齢者の受け入れ人数	改善インセンティブ事業の参加事業所の平均以上
機能訓練指導員の人数	〃
介護福祉士の人数	〃